

# 花新聞

花を愛し、花の輪を広げよう。

HANA  
SHINBUN

第19号

北九州市建設局  
公園緑地部緑政課花とみどり係  
〒803-8501 小倉北区内1-1 093(582)2466



花新聞キャラクター  
ピッチちゃん



## 心を癒してくれる花・コスモス

グリーンパーク

**たくましい生命力を  
持つ、可憐な花**

風とたわむれながら咲く、可憐なコスモスの花。日本の秋を彩る代表的な花ですが、原産地はメキシコです。日本に入ってきたのは明治時代と比較的新しく、あつという間に全国に広がりました。花の形が桜に似ているため「秋桜」とも呼ばれ、また、「風を見る花」というロマンチックな愛称もあります。コスモスは、ギリシャ語の「美しい」という言葉が語源。花の美しさから、この名前がつけられたのでしょう。コスモスは、やさしい姿からは想像もつかないような、たくましい生命力を持っています。一度栽培すると、こぼれた種子が毎年、芽を出し、群生して花を咲かせます。踏まれても、風に倒されても、やがてたくさんの根を出し、立ち上がるコスモス。その素朴な美しさが、私たちに力を与え、心を癒し、やさしい気分にしてくれます。

品種改良も盛んに行われ、花冠が筒状になっている黄花コスモス系サンセットや、花の少ない晩秋から早春にかけて咲くウインターコスモス、チョコレートのような甘い香りを放つチョコレートコスモスなど、その品種は多彩で豊富です。花言葉は「乙女のまごころ」。

**コスモス  
おすすめスポット**

●グリーンパーク

(若松区響灘緑地)

●若松コスモス街道

(若松区大字安瀬)

●金山川コスモス街道  
(八幡西区大字則松)



チョコレートコスモス



# 花いっぱいのおもてなし

## 都心部の花いっぱい

多くの人で賑わう北九州市の顔・小倉都心部。そんな都心部を訪れる人たちに、より快適で楽しく過ごしてもらうため、花を使った魅力的な空間づくりが進められています。

都心の玄関口であるJR小倉駅の南北ベテストリアンデッキ(空中回廊)に夏、お目見えしたのは「空中花壇」。南口は「元氣」をキーワードに、ヒマワリやマリゴールドなど、黄色をメインカラーとした花を、北口は「海と風」をキーワードとしたハーブやサルビアなど、青色をメインカラーとした花が植えられました。この花壇は、プラン、花苗植えから水やりなどの管理を、



小倉駅北口

都心の商店街を花で飾り、楽しくにぎわいのある空間とするため、通りごとに特色あるフラワーポットを設置し、「花の小径」とします。

また、八月下旬には「花いっぱいのおもてなし」を実施し、旧長崎街道にあたる京町から室町までを、市民福祉センターや福祉施設、小中学校で育てたひまわりのプランターを並べ、「ひまわりの巡り道」をつくり

## 商店街と街角の花いっぱい

市と民間団体や周辺企業・町内会と協力して行っています。

また、平和通りを更に明るく華やかにするため、花壇やフラワーポットを整備し、駅に降り立った人を明るく温かく、おもてなししています。



小倉駅南口

ました。

さらに、都心の主要な交差点や歩道にも花壇やフラワーポットを置いて、通りを楽しく華やかに演出しています。



「リバーウォーク北九州」前



魚町商店街

## 暮らしの花風景

### ツルコを美しく育てよう

ツル植物をあなたの庭に取り入れてみましょう。塀で囲まれた狭い庭やベランダガーデンも、やさしく伸びてゆくツルが今までとは違った雰囲気をかもし出すでしょう。

今年五月末に訪れたパリ郊外ジヴェルニーのモネの庭園では、様々なツル植物が植えられ壁面に奥行きや立体感を、壁面には生き生きとした緑の表情を演出していました。

印象派の画家モネが愛

した睡蓮の咲く池に架けられた太鼓橋の上には白と薄紫のフジが豪華な花房を垂れ、アーチやピンクに彩られた家の壁面にはツルバラやアイビーが、アイリスの咲く庭にはモントナ系のクレマチスが、そして塀にはピラカンサスが見事に白い花をつけていました。赤い実のなる初冬の光景が美しく想像されます。次回はツル植物を用いたガーデンングをご紹介します。

西日本短期大学造園科  
グリーンアドバイザー  
講師 音成陽子





受賞箇所発表 第9回 北九州市

# 花咲くまちづくり コンクール

花づくりを通して、美しいまちづくりに貢献する人々を応援する「花咲くまちづくりコンクール」。9回目を迎えた今年は、91件の応募があり、大変レベルの高いコンクールになりました。厳正な審査の結果、受賞箇所が決定しましたので発表します。



個人部門

優秀賞

岸野 悟さん  
(若松区高須北) 主道沿いガードレール下

ガードレール下の狭い空間をポリウム感たっぷりに花を植えることで、地域の潤いや美化に貢献していることは高く評価できる。



優良賞

青木 靖子・良雄さん  
(八幡西区別当町) 門扉まわり、玄関前庭



優良賞

白石 宏・政子さん  
(小倉南区葛原) 自宅花壇、玄関前



ベンチやプランターを配して地域の人にも花を楽しんでもらいたいという積極的な気持ちがあふれている。背丈の違う花壇を使用し、また、樹木を適切に配置することで、平面になりがちな花壇を立体的に見せる工夫がされている。

審査特別賞

岡原 文子さん  
(若松区高丸) 自宅前花壇



花壇とプランターをうまく組み合わせ、四季の花であふれた庭を作ろうという意欲が評価できる。

審査特別賞

島田 末子さん  
(八幡西区星和町) 玄関前、門扉まわり、外壁



花鉢の色を統一し、花の色が見映えるように工夫された花飾りで、道行く人に感動を与えている。

審査特別賞

中原 正さん  
(小倉南区行綱東) 自宅横の庭



昭和池公園を散策に訪れる人達が自由に花壇内を回廊できるようにして、おりに癒しの空間を与えたいという気持ちがあふれている。

企業・商店部門

最優秀賞

ミル・ベル・フルール  
(若松区高須東) 店舗入口横

通りに面する店舗全体を統一した色合いの花でポリウムいっぱい飾り、来店者を気持ちよく迎えるとともに通りもひき立てている。土作り、苗の選択、維持管理など花づくりの技術は高く評価できる。



優良賞

養護老人ホーム  
長寿園  
(戸畑区中原西) 仙水公園ホームを隣テラス

小学生と花づくりを行うなど、地域との交流をはかるその取り組みは高く評価できる。花づくりを通して、ホーム入所者の日常生活が潤い、意欲も出てきており、今後の活動に期待が持てる。



審査特別賞

ウェストミンスターズパーク  
ヴェルジエ  
(八幡西区本城東) 倉庫合駐輪場入口倉庫内



工場や店舗が立ち並び、また車道に面した場所での花づくりは多くの人の目に触れ、街並みの景観への効果は高く評価できる。

審査特別賞

医療法人共愛会  
戸畑リハビリテーション病院  
(戸畑区小芝) 本館1F(リハビリ棟)のロビー



四季の花を揃えることで患者さんのリハビリの励みとなること、見舞いに来る方々にも安らぎを与えていることとは高く評価できる。



団体部門

最優秀賞



**フラワーガーデン千代**  
(八幡西区千代)  
千代4丁目1番、10番の道路沿い  
地域のボランティアが募って種から花苗を育てて花壇に植え付けるなど、花づくりの維持管理はもちろんのこと、地域の取り組みは素晴らしい、高く評価できる。



審査員特別賞

**カトリック黒崎教会**  
(八幡西区南井町)  
教会前花壇  
街の景観に奇与する効果は高く、今後の活動にも期待が持てる。



優秀賞

**アーバンコーポ八幡園芸クラブ**  
(八幡東区西本町)  
マシヨシ玄関先  
種からの苗づくりや落ち葉を利用した堆肥づくりを試みるなど、維持管理の技術を高めようという意欲が強く表れている。美しい街並みづくりへの取り組みが高く評価できる。



審査員特別賞

**北九州市立鞘ヶ谷公民館市民福祉センター**  
(八幡東区西本町)  
市民福祉センター  
地域住民との花を通しての交流が高まり、花と緑のまちづくりを目指そうとする意気込みが強く感じられる。



優秀賞

**西小倉公園愛護会**  
(小倉北区金田)  
西小倉公園  
バス通りに面し、道を歩く人だけでなく、バスに乗っている人も花を見られるようにとさまざまな工夫を凝らして四季折々の花を植え付けている。技術は素晴らしい。



審査員特別賞

**さわらび国際通りまちづくり期成会**  
(八幡東区西本町)  
八幡駅前さわらび国際通り  
地域住民による期成会を立ち上げ、幼稚園見をはじめ、多くの方の協力で花を植えており、今後の活動に大きな期待が持てる。



優秀賞

**北九州市立浅川小学校**  
(八幡西区浅川町)  
玄関前、中庭  
玄関前に色鮮やかな花を植え付けたプランターを殺差をつけて壁などに花いっぱいにしてしようと工夫を凝らしている。



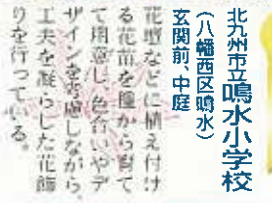
優良賞

**北九州市立光貞小学校**  
(八幡西区光貞台)  
校門、玄関まわり、中庭  
種から育てた花をポリエームいっぱいに飾っており、その維持管理や花づくりの技術、デザイン性は高く評価できる。



審査員特別賞

**北九州市立鳴水小学校**  
(八幡西区鳴水)  
玄関前、中庭  
花壇などに植え付ける花苗を種から育てて用意し、色合いやデザインを考慮しながら工夫を凝らした花飾りを行っている。



学校部門

特別功労賞部門

特別功労賞

**安本美代子**  
(小倉南区沼南町)  
玄関門扉まわり  
年間を通してポリエーム豊かな美しい花飾りがなされるとともに維持管理作業が適切に行われており、その技術、継続性は高く評価出来る。花だけではなく、小物を取り入れた楽しい飾り付けを行っており、花に対する愛情あふれた庭となっている。今年は種から花苗を作るなど、新たな取り組みも評価できる。





# 花通信

# 第9回 花咲くまちづくりコンクール 受賞者決定!

## 受賞者の喜びの声

今年には自宅のベランダで朝顔を育てました。イメージとしてはベランダいっぱいには蔓が伸び、ふさふさの葉っぱが涼しさを演出。そして、あちこちに花が咲く。しかし、現実には：今



南北2100mも続く草むららの土手を「花壇にしたい」と市に交渉してから、受賞は一年七ヶ月の快挙です。梅雨明けの一番暑い季節に約6千本、40種類もの花が溢れる花壇。ボランティアで初めて花づくりを経験した住民の皆さんは「種から育てるのが大変でした。芽がでるまで心配で、寒くなったらビニールをかけ、台風がきたら家の中に入れて、花が咲くとちよつと誇らしい気分。自分の育てた花は花壇の中でもピンポイントでわかります(笑)」と達成感いっぱい笑顔。なだらかな坂道に一直線に続く花壇は花の川のように、花のおかげで歩くのが楽になったという声にも納得です。

団体部門 最優秀賞  
フラワーガーデン千代  
(八幡西区千代4丁目)

のところが、一カ所だけ花を確認。葉はどことなく元気がない。きれいに元気に育てることの難しさを実感しました。取材させていただいた方をあらためてスゴイ!と思いました。



「自分の好きなことで賞をいただいたのが嬉しい。すぐ子供達にメールで報告しました」と西村和江さん。オーブン19年目。鉢からはじまった花づくり。今では50鉢に増えて店頭で溢れる花や緑は、まさにお店の顔です。「化学肥料を使わず土を元気にすることを心がけています。花にいいといわれることはなんでもやってみて、でも過保護にはしないよ」と花に教える母親のよう。「花を育てることで、出会いや一歩踏み出すことの大切さなど学んだこともいっぱい。今後は、お店がもっと森の中にあるようにしたい!」とイメージもどんどん膨らむようです。

企業・商店部門 最優秀賞  
ミル・ベル・フルール  
(若松区高須東)



花新聞リポーター  
園田静佳  
クロスFM/  
ニュース・アナウンサー  
RKBラジオ/  
リポーター



優秀賞、最優秀賞、そして今回の特別功労賞。三年連続の受賞で一番変わったことは、メル友ならぬ花友が一気に増えたことだそうです。「特にこの一年は花を観にこられる方が増えました。それをきっかけに友達になり、さらにお願いされてよそのお宅の庭に花を植えるにでかけることも多かったです。一緒に苗を買いに行つて、イメージを伺つて創りあげた花の空間を喜んでもらえることも嬉しかったです。種の交換もよくします」と新しい楽しみも増えたようです。一日に三度、天気予報で風向きなどチェックして花の置き場所も考えるという安本さん。花に対する情熱も深くなる一方のようです。

特別功労賞  
安本美代子さん  
(小倉南区沼南町)

ひろがる花友だちの輪!

### 花を愛し、花の輪を広げよう

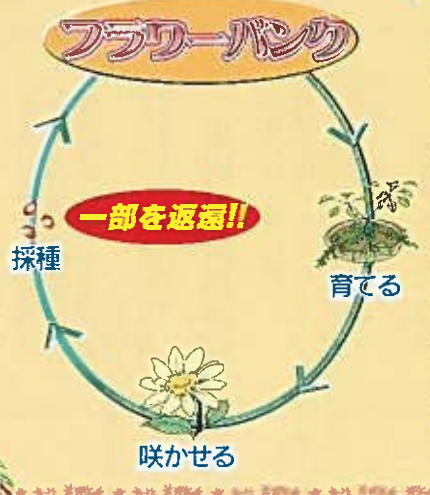
## フラワーバンク

暮らしにいっぱい、花を咲かせましょう

市民の皆さまより寄せられた花の種子を市が預かり、必要とする方に斡旋するシステムが、「北九州市フラワーバンク」です。

各区役所に花の種を保管する冊があります。ここから種を持ち帰って、あなたも花を咲かせてみませんか。花を楽しんだ後は種をとって、フラワーバンクの冊へ戻しましょう。その種は、また別のどこかで花を咲かせることですよ。

花いっぱい潤いのある毎日を過ごしながら、花の輪を広げましょう。お問い合わせは、各区役所まちづくり整備課へ。



小倉北区・繁田さんよりさくら草の種を寄付していただきました。ありがとうございました。



# FLOWER \* KITAKYUSHU はなまちニュース

## 晴ヶ谷公民館・市民福祉センターの庭が イングリッシュガーデンに大変身!



### 戸畑区晴ヶ谷校区 緑化コミュニティ計画

ほたるの里として有名な晴ヶ谷校区。平成16年度から緑化コミュニティによる新しい町づくりがスタートしました。コンセプトは「ホテル舞うガーデンタウンSAYAGATANI」。地域住民・ボランティア・NPO・行政が連携し、ガーデンングを主体とした町づくりを行う新しい取り組みです。

その最初の一步として、地域コミュニティの拠点「晴ヶ谷公民館・市民福祉センター」(以下「館」)の前庭をイングリッシュガーデンに生まれ変わらせました。今回はその奮闘ぶりを伺ってきました。

### 庭を変える前にまず勉強!

平成15年10月から12月にかけて、館でイングリッシュガーデンの講座を開きました。



掘り起こし作業



オープニングパーティー

### 大変だった土づくり

森のように緑が生い茂る館の庭。講座でわかった大きな問題は「土」。痩せて水はけの悪い土地を改良するため、まず土づくりに取り組みました。

地域住民や館の職員総出で昨年12月、庭の土全体を深さ1mも掘り起こしました。樹々は想像以上に根がはり、なかなか掘り出せません。「まちづくり協議会」の男性陣の力も借りて土と格闘する日々が続きます。

一方、思いづく限りのつてを頼り、さまざまな協力も得ます。なかでも驚いたのは、佐賀競馬場から大量の馬フンが届けられたこと。馬フンを発酵させて作ったたい肥70kgは土を生まれ変わらせる宝物。石灰を入れて大切に土に混ぜ込みます。またある時は閉校する前田小学校の

花壇の土を譲ってもらった。軽トラで何度か往復して土を運びこみます。気の遠くなるような作業を経て、庭はやっとほぼ更地の状態に。そこから約二ヶ月間、土を寝かせて熟成させます。

### イングリッシュガーデン誕生

今年3月、地域三世代にわたる住民も参加して花が植えられました。庭の形が具体化していく様はこの上ない喜びだったでしょう。

休日返上で活動を続けた館の女性職員たちは振り返って「人生が変わった。きつかった。最初持てなかつたものが持てるようになったり、ヘルメットに長靴、ジャンパー姿で作業していると工事の男性作業員にも間違われた。アッハハ」と笑いとばします。そして「庭の変化と同時に地域にも変化を感じた」と話してくれました。はじめは「何がはじまったの?」と遠くから不思議そうに見ていたのが「またがんばってんの?」



くつろげる空間

手作りのネームプレート



と声をかけられるように。さらに色々な形で積極的な参加が始まります。共に汗だくになって下さる方。「腰が悪く作業には参加できないけど」と言って手作りのオーナメントや花のネームプレートを作ってきてくれた方。講座の講師の中にはボランティアで草木の剪定をしてくれる方も。近くのハーブレストランからは苗のおすそわけ。活動を通して芽生えた交流が、庭をあたたかみのある空間に彩ってくれました。そして5月、念願のイングリッシュガーデンの完成です。

### これから

イングリッシュガーデンは「ガーデンタウンづくり」のほんの一部です。今後も花と緑のスポットが次々に生まれる予定です。今秋は夜のガーデンも楽しめるように新しい計画も進行中! ガーデンタウンの進化とともに活動によって生まれる、目にはみえない何かにもとても心が惹かれました。(文・園田静佳)

## あでかけ インフォメーション

グリーンパーク

9月5日(日)・10月3日(日)

フリーマーケット若松

雨天時は翌週へ順延

☎093-741-5545

### 山田緑地

9月11日(土)・26日(日)

9時~17時(火曜休園日)

川中時彦・星山から跡地裏の子供達がいる童画展

素朴なタッチで描く田中時彦の童画の世界。

☎093-582-4870

### 平尾台自然の郷

9月23日(祝)13時

音楽集団P.A.M.による、クラシック・オペラ・ポップス・ロックなどのコンサート

音楽の広場(雨天中止)

☎093-452-2715

### 到津の森公園

9月23日(祝)

動物愛護デー入園無料の日

動物愛護デーを記念して、入園料が無料。動物なんでも相談や動物愛護絵画作文コンクールなど。

☎093-165-11895

### 花新聞10周年記念! 花の手紙をお持ちしています。

北九州市内のご自宅でお届けした花や野山の花風景など、お気に入りの写真を送ってください。写真の一部は花新聞紙上で紹介させていただきます。花とみどり係へのご質問や、花に関するお便り、花新聞の感想もお待ちしております。

あて先

〒803-8501

小倉北区内1-1北九州市建設局

公園緑地部緑政課花とみどり係

TEL.093-582-12466

FAX.093-582-3114